

いざという時に備えて



救急医療情報キットを作ろう！

救急医療情報キットを広めるため、
中京マチビト Café や、
ホームページで情報を発信！

山本 智子 さん
京都救急医療情報キットを作る会



救急医療情報キットを広める取組をされている山本さん。中京マチビト Café で多くの方々と交流され、その大切さを伝えられています。

救急医療情報キットとは、緊急連絡先やかかりつけ医、服用薬、既往症といった医療情報等を容器に入れたものです。それを自宅の冷蔵庫等に保管します。

例えば、119 番後に救急隊員が到着した際、意識がない場合や言葉が発せなくても、それを救急隊員が見ることで、迅速な処置や搬送に役立ちます。



出典：非営利特定活動法人メンタルケア協議会 HP（一部編集）

山本さんは、「京都でも、<救急医療情報キット>を作りましょう！」(右写真) というホームページを作成され、100 均の材料を利用して、安価でキットを作る方法をご紹介します。

<http://kyoto119kitto.com>



取組んでみてのご感想

全国の町内会や自治会、高齢者サロン、福祉委員会や障がい者団体、マンションの管理組合等にキットを作っていたら、これがあれば安心！と言っていたら嬉しく思います。

連絡先：075-314-4679 メール：tomoy913@nifty.com HP：京都でも、<救急医療情報キット>を作りましょう！



山本 智子 さん